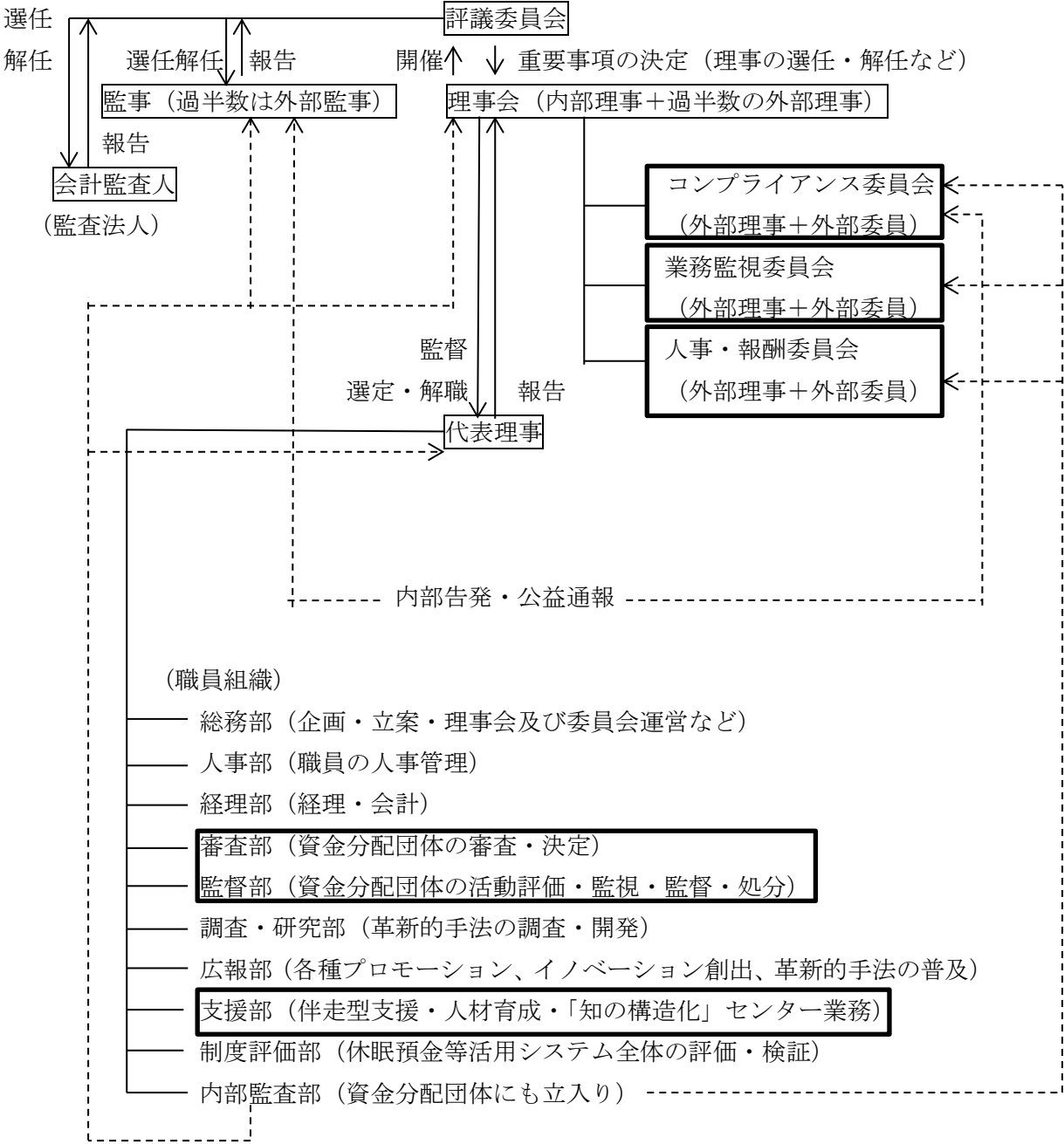


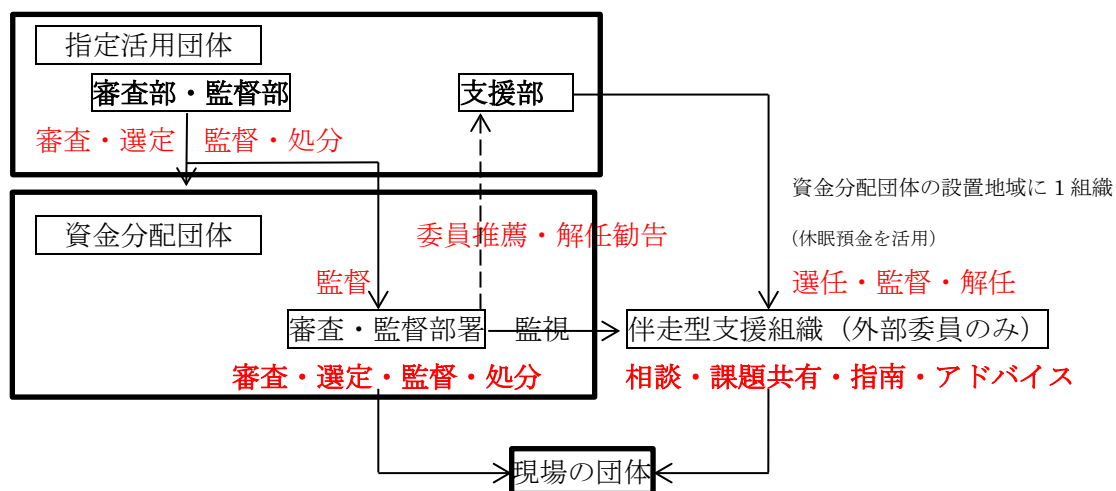
指定活用団体の組織と活動の関係について

中央大学法科大学院教授  
 野 村 修 也

(1) 指定活用団体の内部組織 (再考)



(2) 伴走型支援組織の制度的位置づけ (独立型) (再考)



【各委員会の役割】

コンプライアンス委員会 (月 1 回程度開催。外部理事・外部専門家 (若干名)・監事が集まってコンプライアンスに関するモニタリング。外部理事が理事会で審議内容を報告)

業務監視委員会 (月 1 回程度開催。外部理事と外部専門家 (若干名) が集まって業務の執行状況についてモニタリング。定期的に業績評価報告書を取りまとめる)

人事・報酬委員会 (半年に 1 回程度開催。外部理事と外部専門家 (若干名) が集まって理事の人事と報酬についてチェックする)

(3) 指定活用団体の活動と組織

<p>①業務執行</p> <p>A. 意思決定・執行・総務</p>	<p>意思決定＝理事会          執行＝理事長          (職員組織)          ・総務部          ・人事部          ・経理部</p>
<p>B. 資金分配団体への助成・貸付／現場の団体への貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に解決すべき社会の諸課題の決定</li> <li>・イノベーション創出、革新的手法の普及</li> <li>・資金分配団体の決定             <ul style="list-style-type: none"> <li>申請方法・様式等の決定</li> <li>申請相談・申請受理</li> <li>審査・決定</li> </ul> </li> <li>・資金分配団体の活動評価・監視・監督・処分</li> </ul>	<p>(職員組織)          ・審査部             ・監督部</p>
<p>C. 調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知の構造化」に関する調査・研究</li> <li>・革新的手法の調査・開発</li> </ul>	<p>・調査研究部</p>
<p>D. プロモーション機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーション創出、革新的手法の普及</li> </ul>	<p>・広報部</p>
<p>E. 伴走型支援・人材育成・「知の構造化」センター業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型支援組織の選定・監督</li> <li>・伴走型支援人材の育成・ネットワーク作り</li> <li>・「知の構造化」センター業務</li> </ul>	<p>・支援部</p>
<p>F. 休眠預金等活用システム全体の評価・検証</p>	<p>・制度評価部</p>
<p>②指定活用団体の業務の健全性を確保するための監督活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 違法性監査</li> <li>B. 会計不正の監査</li> <li>C. 法令等遵守</li> <li>D. リスク管理</li> <li>F. 執行機関の健全性確保</li> <li>G. 内部統制システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事</li> <li>・会計監査人</li> <li>・コンプライアンス委員会</li> <li>・業務監視委員会</li> <li>・人事・報酬委員会</li> <li>・内部監査部</li> </ul>